

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-050031

(43)Date of publication of application : 18.02.1997

(51)Int.Cl.

G02F 1/1335

G02F 1/1335

H05B 33/00

(21)Application number : 07-204542

(71)Applicant : SEIKO EPSON CORP

(22)Date of filing : 10.08.1995

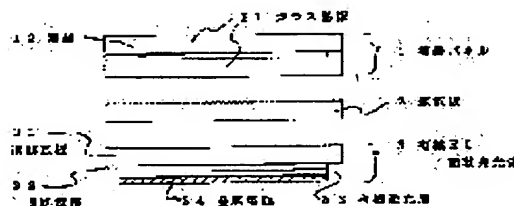
(72)Inventor : MIYASHITA SATORU

(54) LIQUID CRYSTAL DISPLAY DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a liquid crystal display device with which back light illumination is possible according to need, usually with a bright reflection type, an inverter circuit is not needed and the selection of free light emitting colors is possible by arranging a diffusion plate having a light scattering function behind a liquid crystal panel and further, arranging an org. EL surface light emitting body.

SOLUTION: The diffusion plate 2 having the light scattering function is arranged behind the liquid crystal panel 1 formed by holding liquid crystals 12 with two sheets of transparent substrates 11 formed with transparent electrodes. The org. EL surface light emitting body 3 formed by laminating transparent electrodes 32, an org. light emitting layer 33 and metallic electrodes 34 on the transparent substrate 31 is arranged behind the diffusion plate 2. This org. EL surface light emitting body 3 may be functioned as a reflection plate at the time of non-energization. The directivity of the reflected light is high and the visibility is poor in the case of the reflection plate having a smooth surface and therefore, the light diffusion plate 2 is necessary. A light diffusion plate which is provided with ruggedness on its surface and is transparent is general as the light diffusion plate 2. The free changing of the light emitting colors is made possible by selecting the org. light emitting materials or combining these materials.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

08.08.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

JP09-050031

English Translation of [0011] and [0012]

[0011]

[Embodiments]

(Embodiment 1) Fig. 1 is a schematic cross-sectional view of a liquid crystal display device according to this embodiment. In Fig. 1, reference numeral 1 denotes a liquid crystal panel, 2 denotes a diffusion plate, and 3 denotes an organic EL surface light emitting body. The liquid crystal panel provides a fixed display of a TN mode and has a deflection plate attached to an outer side of a transparent substrate. The diffusion plate has irregularities with appropriate roughness formed on one surface of a transparent plastic film. The organic EL surface light emitting body is structured by forming an ITO transparent electrode 32 on a glass plate 31 through sputtering, laminating an organic light emitting layer 33 including two layers of a triphenylamine derivative and a beryllium benzoquinolinol complex through vacuum evaporation, and further laminating a metal electrode 34 made of a magnesium-indium alloy through co-evaporation. The metal electrode doubles as a total reflection layer of the liquid crystal panel.

[0012] When a voltage of 3 V is applied to the liquid crystal panel through static drive, a bright, wide-field, easily-viewable, reflection-type liquid crystal display can be realized.

特開平9-50031

(43) 公開日 平成9年(1997)2月18日

(51) Int. Cl. ⁷	F I
G02F 1/1335	530
H05B 33/00	520
H05B 33/00	530
H05B 33/00	520
審査請求 未請求	請求項の数 6 O L (全6頁)

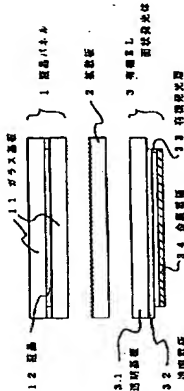
(21) 出願番号	特願平7-204542	(71) 出願人	000002369 セイコーエプソン株式会社 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号
(22) 出願日	平成7年(1995)8月10日	(72) 発明者	宮下 裕 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内
		(74) 代理人	井理士 鈴木 喜三郎 (外1名)

(54) 【発明の名称】 液晶表示装置

(57) 【要約】

【目的】 通常は明るい反射型の液晶表示装置であり、必要に応じてバックライト照明が可能で、しかもインバータ回路が不要であり、また自由な発光色選択のできる液晶表示装置を提供する。

【構成】 液晶パネルの背後に、光散乱機能を有する拡散板が配置され、拡散板の背後に有機EL面状発光体を配する。または、液晶パネルの背後に、表面または裏面に凹凸を有する透明電極上に透明電極と有機発光層及び金属電極が積層された有機EL面状発光体を配置する。



(請求項の範囲)

【請求項1】 液晶を2枚の透明電極が形成された透明基板で挟持した液晶パネルの背後に、光散乱機能を有する拡散板が配置され、拡散板の背後に透明基板に透明電極と有機発光層及び金属電極が積層された有機EL(エレクトロニクス)面状発光体が配置されたことを特徴とする液晶表示装置。

【請求項2】 液晶パネルの裏面に光散乱機能を有する拡散板を接着層を介して貼り付け、該液晶パネルの背後に有機EL面状発光体が配置されたことを特徴とする請求項1記載の液晶表示装置。

【請求項3】 液晶パネルの背後に、光散乱機能を有する拡散板を接着層を介して貼り付けた有機EL面状発光体が配置されたことを特徴とする請求項1記載の液晶表示装置。

【請求項4】 液晶パネルの裏面に光散乱機能を有する拡散板を接着層を介して貼り付け、更に有機EL面状発光体を接着層を介して貼り付けたことを特徴とする請求項1記載の液晶表示装置。

【請求項5】 液晶を2枚の透明電極が形成された透明基板で挟持した液晶パネルの背後に、表面に凹凸を有する透明電極上に透明電極と有機発光層及び金属電極が積層された有機EL面状発光体が配置されたことを特徴とする液晶表示装置。

【請求項6】 液晶を2枚の透明電極が形成された透明基板で挟持した液晶パネルの背後に、裏面に凹凸を有する透明電極上に透明電極と有機発光層及び金属電極が積層された有機EL面状発光体が配置されたことを特徴とする液晶表示装置。

【発明の詳細な説明】

(0001)

【産業上の利用分野】 本発明は、通常使用上は反射型の液晶表示装置に関し、必要に応じてバックライトを点灯させることができる液晶表示装置に関する。

(0002)

【従来の技術】 液晶を2枚の透明電極が形成された透明基板で挟持し、透明基板の外側に偏光板を貼り付けて作製した液晶パネルの背後に、半透過反射基板を配置し、更にバックライト照明を配置した液晶表示装置は既に市販されている。バックライト照明を常時利用しないため省電力化が可能で、携帯電話や時計等の中小パネルに広く普及している。また、ポータブルのパーソナルコンピュータ用途にも検討されるようになった。

【0003】 半透過反射基板は、表面に凹凸を有する透明基板上に反射率が適切になる膜厚でアルミニウム層を形成したものが用いられている。バックライト照明には、高誘電率バインダー中に分散した蛍光体に交流電圧を印可する事により発光する、シート状のEL面状発光体が用いられている。発光色はブルーグリーンが主流である。

(0004)

【発明が解決しようとする課題】 しかし、半透過反射基板を用いた反射型の液晶表示装置は、全反射基板を用いた反射型の液晶表示装置に比べ、半分の明るさしか得られない。またバックライトの照明も、半透過反射基板を介することで半分の光しか利用できない。結果的に、反射表示も透過表示も暗く見づらく表示にならないという問題があった。また、バインダー中に蛍光体を分散させたシート状のEL面状発光体は、数百ヘルツの周波数で、50ボルトから200ボルト程度の電圧を印可せねばならず、電池を電源とする場合、インバータ回路が必要となった。インバータにはコイル等の重い部品が必須となるため、小型携帯機器には適していない。また発光色も白色の発光は色純度が悪く、効率的なものしか得られていない。

【0005】 そこで本発明はこのような課題を解決するもので、その目的とするところは、通常は明るい反射型の液晶表示装置であり、必要に応じてバックライト照明が可能で、しかもインバータ回路が不要であり、また自由な発光色選択のできる液晶表示装置を提供することにある。

(0006)

【課題を解決するための手段】 上記目的は、液晶を2枚の透明電極が形成された透明基板で挟持した液晶パネルの背後に、光散乱機能を有する拡散板が配置され、拡散板の背後に透明基板に透明電極と有機発光層及び金属電極が積層された有機EL面状発光体を配置することにより達成される。

【0007】 また、液晶を2枚の透明電極が形成された透明基板で挟持した液晶パネルの背後に、表面または裏面に凹凸を有する透明電極上に透明電極と有機発光層及び金属電極が積層された有機EL面状発光体を配置することにより達成される。

(0008)

【作用】 有機発光物質を用いた有機EL素子としては、車層または、正孔注入層や電子注入層を有する多層構造の素子が知られている(特開64-7635、特開63-295695など)。発光層、正孔注入層、電子注入層の各有機層は、真空蒸着やスパッタリングにより1000オングストローム程度の厚さの均一な薄膜で形成されている。電極は透明基板側にITOや酸化スズ等の透明電極を用い、有機層上にはインジウムやマグネシウム-亜鉛合金、アルミニウム-ナトリウム合金等の金属層を真空蒸着により形成している。透明基板側から見ると有機層が薄いため、鏡状に全反射の金属光沢が観察される。直流10ボルト程度の駆動電圧で、1000cd/m²以上の発光輝度が得られている。また、有機発光材料を選択または複合化させることで、自由に発光色を変えることができる。

【0009】 バインダー中に蛍光体を分散させたシート

状のE1面状発光体は、強い反射光が得られないため、面状発光体の前面に反射板が必要となる。しかし、有機E1面状発光体であれば、非通電時ににおいて反射板として機能させることができる。しかし、平滑な表面の反射板では反射光の指向性が高く、液品表示としては見づらくなってしまうため、光拡散板が必要となる。光拡散板としては表面に凹凸をつけた透明なものが一般的である。光は透過する際、屈折率差の大きい界面で反射し損失となる。特に空気との界面で著しいため、透明基板と屈折率の近い接着層を介して貼り合わせることで大切である。平滑な面同士との接合が好ましい。

【0010】最も光の利用効率が高くなるのが、凹凸のある表面に金属層、できればアルミニウム層を形成する方法である。有機発光層は非常に薄いもの、面状発光体のため全面電極でよく、この構成も可能である。

【0011】

【実施例】

【実施例1】本実施例における液品表示装置、模式的な断面図を図1に示す。図1において、1は液品パネル、2が拡散板、3が有機E1面状発光体である。液品パネルは、TNモードの固定であり、透明基板の外側に偏光板が貼り付けられている。また、拡散板は、透明プラスチックフィルムに凹凸を形成し、トリアセチルアミン誘導体とベリリウムベンゾキニリノール樹脂の2層からなる有機発光層3を真空蒸着法で形成し、更にマグネシウム-インジウム合金の金属層4を2元素蒸着法で形成し、金属層は液品パネルの全反射層を兼ねている。

【0012】液品パネルにスタティック駆動により3ボルトの電圧を印加すると、明るく広視野角で見やすい、反射型の液品表示が実現できた。液品パネルの背後に、通常の反射専用板を用いた反射型液品表示装置と、表示面状発光体に、透明電極を貼付する3ボルトの電圧を印加すると、液品パネルの表面で5カンデラの輝度が得られた。発光色は青緑色であった。

【0013】時計計に前記液品表示装置を接続すると、3ボルトの電圧を昇圧することなく時刻の表示ができ、必要に応じて夜間照明をさせることができた。消費電力はバインダー中に蛍光体を分散させたシート状のE1面状発光体に比べ、約半分を減らした。

【0014】（実施例2）本実施例における液品表示装置、模式的な断面図を図2に示す。図2において、1は液品パネル、2が拡散板、3が有機E1面状発光体である。液品パネルは、TNモードの固定であり、透明基板の外側に偏光板が貼り付けられている。また、接着剤4を介してプラスチックフィルムの拡散板を貼り付けている。拡散板を貼り付けることで、透過光量を1050

【0020】（実施例4）本実施例における液品表示装置、模式的な断面図を図4に示す。図4において、1は液品パネル、2が拡散板、3が有機E1面状発光体である。液品パネルは、透明基板の外側に偏光板が貼り付けられている。有機E1面状発光体はプラスチックフィルムに凹凸を形成し、トリアセチルアミン誘導体とベリリウムベンゾキニリノール樹脂の2層からなる有機発光層3を真空蒸着法で形成し、更にマグネシウム-インジウム合金の金属層4を2元素蒸着法で形成し、金属層は液品パネルの全反射層を兼ねている。

【0021】液品パネルに1/200デューティで線順次走査駆動により電圧を印加すると、明るい反射型の液品表示が実現できた。液品パネルの表面に、通常の反射専用板を貼りつけた反射型液品表示装置と、表示品位においてほとんど差異がなかった。また、有機E1面状発光体に、透明電極を貼付する昇圧させた15ボルトの電圧を印加すると、液品パネルの表面で50カンデラの輝度が得られた。発光色は白色であった。

【0022】ゲーム等のポータブル機器に前記液品表示装置を接続すると、必要に応じてバックライト照明をさせることができた。白色の発光色のため、違和感の無い見やすい表示を提供できた。図外においては、通常の反射型液品表示として用いることができる。

【0023】（実施例5）本実施例における液品表示装置、模式的な断面図を図5に示す。図5において、1は液品パネル、3が有機E1面状発光体である。液品パネルは、偏光板を用いないPDL（ポリマー分散型液晶）モードであり、MIM素子によるアクティブマトリクス表示である。有機E1面状発光体は表面に凹凸を有するプラスチック基板上にITO透明電極を真空蒸着法で形成し、トリアセチルアミン誘導体とベリリウムベンゾキニリノール樹脂の2層からなる有機発光層を真空蒸着法で形成し、更にマグネシウム-インジウム合金の金属層4を2元素蒸着法で形成し、金属層は液品パネルの全反射層を兼ねている。

【0024】640×400画素の液品パネルにおいて、MIM素子により液品パネルに電圧を印加すると、モノクロの明るい反射型の液品表示が実現できた。液品パネルの表面に、通常の反射専用板を貼りつけた反射型液品表示装置と、表示品位においてほとんど差異がなかった。また、有機E1面状発光体に、透明電極を貼付する昇圧させた12ボルトの電圧を印加すると、液品パネルの表面で100カンデラの輝度が得られた。発光色は青緑色であった。

【0025】バートムツのパーソナルコンピュータに前記液品表示装置を接続すると、必要に応じてバックライト照明をさせることができた。表面輝度が低いため、昼間でも見やすい表示を提供できた。図外においては、通常の反射型液品表示として用いることができる。

【0026】（実施例6）本実施例における液品表示装置、模式的な断面図を図6に示す。図6において、1は液品パネル、3が有機E1面状発光体である。液品パネルはTNモードであり、TFT素子によるアクティブマトリクス表示である。有機E1面状発光体は表面に凹凸を有するプラスチック基板上にITO透明電極をスパッタ法で形成し、ポリ（N-ビニルカルバゾール）に、1,4,4'-テトラフェニル-1,3-ブタジエンとクマリン6、DCM1を適度な比率でドーブした有機発光層をスパインコート法で形成し、更にアルミニウム-インジウム合金の金属層4を2元素蒸着法で形成した。

【0027】640×400画素の液品パネルにおいて、TFT素子により液品パネルに電圧を印加すると、モノクロの明るい反射型の液品表示が実現できた。液品パネルの表面に、通常の反射専用板を貼りつけた反射型液品表示装置と、表示品位においてほとんど差異がなかった。また、有機E1面状発光体に、透明電極を貼付する昇圧させた20ボルトの電圧を印加すると、液品パネルの表面で100カンデラの輝度が得られた。発光色は白色であった。

【0028】バートムツのパーソナルコンピュータに前記液品表示装置を接続すると、必要に応じてバックライト照明をさせることができた。表面輝度が低く白黒の装のいたため、昼間でも見やすい表示を提供できた。図外においては、通常の反射型液品表示として用いることができる。

【0029】（実施例7）本実施例における液品表示装置、模式的な断面図を図7に示す。図7において、1は液品パネル、5が半透過反射板、6がバインダー中に蛍光体を分散させたシート状のE1面状発光体である。液品パネルは、TNモードの固定であり、その表面に接着剤4を介してプラスチックフィルムの半透過反射板を貼付してある。半透過反射板は、表面に凹凸のあるプラスチックフィルム5に、アルミニウム層52を有する反射率を調整した層で、真空蒸着法により形成している。E1面状発光体はプラスチックフィルム61上にITO透明電極62、発光層63、絶縁層64、背面電極65を順次形成してある。

【0030】液品パネルにスタティック駆動により3ボルトの電圧を印加すると、適度な明るさの、反射型の液品表示が得られた。また、バインダー中に蛍光体を分散させたシート状のE1面状発光体に、70ボルトに昇圧した電圧を400ヘルツの交流で印加すると、液品パネルの表面で4カンデラの輝度が得られた。発光色は青緑色であった。

【0031】 時計時に前記液晶表示装置を登録すると、3ポルトの電池で通常の時刻表示を行い、必要に応じて夜間照明をさせることができた。しかし70ポルトに昇圧するコイルと、周波数変換する電気回路が別途必要になった。また、4カンデラの輝度では、十分な視認性が得られなかった。

【0032】

【発明の効果】 以上述べたように、本発明によれば液晶パネルの背後に、光散乱機能を有する拡散板が配置され、更に有機EL面状発光体を配置するか、または、液晶パネルの背後に、表面または裏面に凹凸を有する透明基板上に透明電極と有機発光層及び金属電極が積層され有機EL面状発光体を配置することにより、通常は明るい反射型の液晶表示装置であり、必要に応じてバックライト照明が可能で、しかもインバータ回路が不要であり、また自由な発光色選択のできる液晶表示装置を提供することができた。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施例1における液晶表示装置を模式的に表す断面図である。

【図2】 本発明の実施例2における液晶表示装置を模式的に表す断面図である。

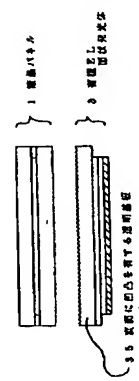
【図3】 本発明の実施例3における液晶表示装置を模式的に表す断面図である。

【図4】 本発明の実施例4における液晶表示装置を模式的に表す断面図である。

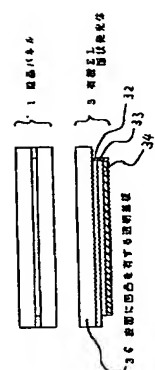
【図5】 本発明の実施例5における液晶表示装置を模式的に表す断面図である。

1 液晶パネル
2 拡散板
3 有機EL面状発光体
4 接合剤
5 半透過反射板
6 バインダー中に蛍光体を分散させたシート状のEL面状発光体
11 ガラス基板
12 液晶
31 透明基板
32 透明電極
33 有機発光層
34 金属電極 (全反射層)
35 裏面に凹凸を有する透明基板
36 表面に凹凸を有する透明基板
51 表面に凹凸を有する透明基板
52 アルミニウム層
61 透明基板
62 透明電極
63 発光層
64 絶縁層
65 背面電極

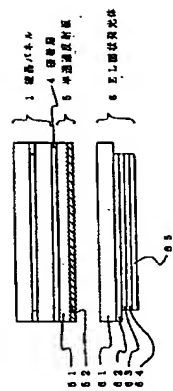
【図5】



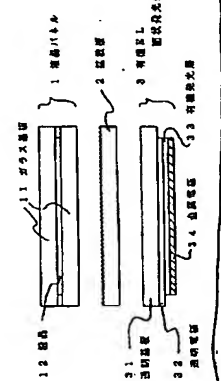
【図6】



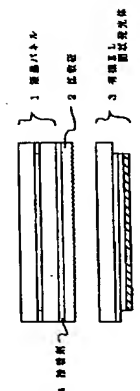
【図7】



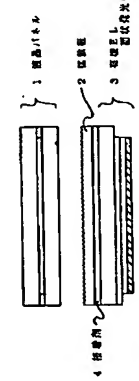
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

